

Review of Operations

営業報告

経営成績

当連結会計年度におけるわが国の経済は、輸出の回復と製造業を中心とする企業収益の改善に伴い設備投資の増加がみられ、個人消費も雇用環境の好転等により徐々に持ち直し、景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。

食品業界や外食業界におきましては、成熟市場の中での競争激化に加え、北米におけるBSE問題やアジアにおける鳥インフルエンザの発生など、食品の安全性に対する消費者の関心が高まり、厳しい状況が続きました。

このような状況の中で、当社はデフレ経済下での低価格競争に巻き込まれることなく、競争力を高めるため「ブランド価値再構築の年」と位置付け、ブランディング室を新設しマーケティングを強化するとともに、製品開発に注力してまいりました。さらに、コスト面では、ボトル購入単価の引下げなどにより、原材料費の低減に努めてまいりました。

この結果、当連結会計年度の売上高は100億22百万円（前年同期比1.5%増）、営業利益は7億4百万円（前年同期比38.9%増）、経常利益は6億12百万円（前年同期比39.0%増）、当期純利益は1億72百万円（前年同期比30.0%増）となりました。

次期の見通し

今後の経済見通しといたしましては、引き続き景気は堅調に推移するものと予想されますが、食品業界ならびに外食業界におきましては、相次ぐ家畜伝染病の発生などにより、先行き不透明感が払拭されず、業況は依然として厳しいものと思われれます。このような状況下において、当社グループは経営課題に積極的に取り組み、平成17年3月期の連結業績予想につきましては、売上高104億13百万円（前年同期比3.9%増）、経常利益6億90百万円（前年同期比12.8%増）、当期純利益1億91百万円（前年同期比10.7%増）を見込んでおります。

7





セグメント別の概況

● ドレッシング事業

ドレッシング事業におきましては、マーケットシェアの拡大余地の大きい首都圏・関西圏の販売を強化するとともに、メニュー提案や試食販売の積極的な実施など効率的な販売促進費の投入に努めてまいりました。また、新製品として、平成15年9月に素材の風味をそのままに生かしたドレッシング「たまねぎフレンチ」とスパドレ「たらこマヨネーズ」「たっぷりトマト」「ジェノベーゼ」の4種類を発売し、平成16年2月には黒ごまの風味を加えた新感覚ドレッシング「黒ごまシーザー」を発売するなど、売上高の拡大を図ってまいりました。さらに、平成15年12月には、それまで通信販売を主体としていたヨーグルトについて、量販店向けの販売も開始いたしました。

この結果、売上高は51億17百万円（前年同期比3.3%増）、営業利益は製造原価等の営業費用の低減もあり18億5百万円（前年同期比29.7%増）となりました。

● レストラン事業

レストラン事業におきましては、市場規模縮小により低迷している既存店売上高の回復を図るため、集客効果が大きい販売促進策を積極的に実施するとともに、直営店において4店舗のリニューアルを実施いたしました。また、周辺環境の変化により営業不振となった「福重店」（福岡市西区）を閉店する一方で、近隣に郊外ファミリー型店舗の「次郎丸店」（福岡市早良区）を新規出店し、当社グループ初の試みとして、お子様連れのお客様が安心して食事を楽しんでいただけるよう保育士常駐のキッズルームを設け、ご好評をいただいております。さらに、新規事業の pasta 専門ファストフード店「ミオミオ」におきましては、首都圏に2店舗（溝の口ノクティ店、千住ミルディス店）を出店し、事業モデルの構築に努めてまいりました。また、上海市に「上海ピエトロ餐飲有限公司」（連結子会社）を設立し、平成15年9月には同社1号店を新規出店いたしました。

この結果、次期以降への布石とはなったものの、競争激化もあり、売上高は47億14百万円（前年同期比0.7%減）にとどまり、販売促進費やミオミオ事業の開発費用等の増加もあり、営業損益は1億93百万円の損失となりました。

店舗推移(ミオミオ店舗含む)

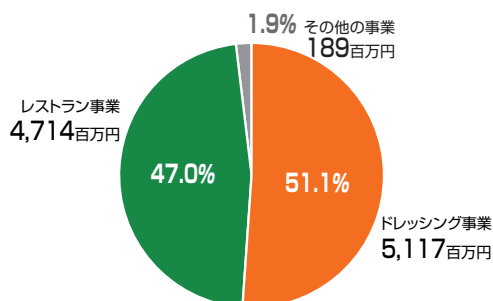
()内は、内数で海外店舗

	平成15年 3月末	平成15年 9月末	平成16年 3月末
直 営 店	34(1)	35(2)	36(2)
FC(フランチャイズ)店	80(6)	80(6)	72(5)
合 計	114(7)	115(8)	108(7)

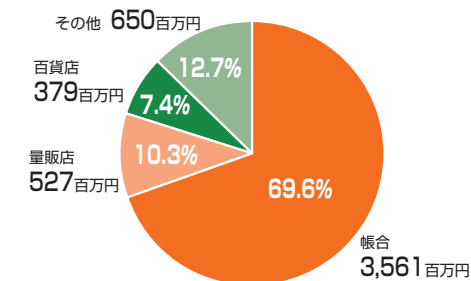
● その他の事業

その他の事業におきましては、本社ビルの賃貸事業の入居率の高まりにより、売上高は1億89百万円（前年同期比7.8%増）となりました。

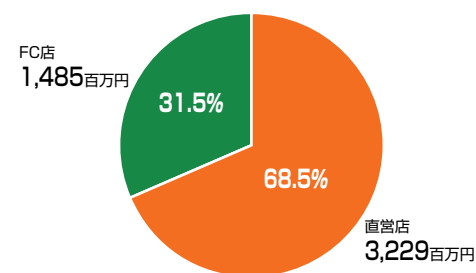
● セグメント別売上構成比 10,022百万円



● ドレッシング事業 販売チャネル別売上構成比 5,117百万円

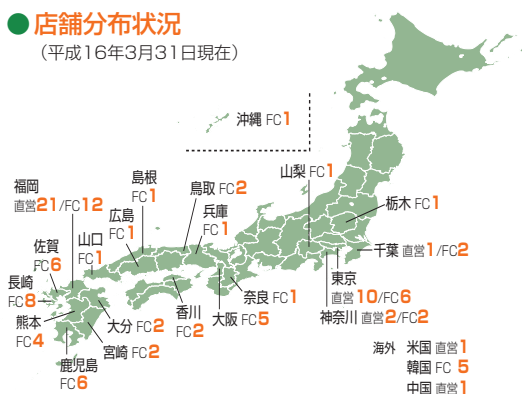


● レストラン事業売上構成比 4,714百万円



● 店舗分布状況

(平成16年3月31日現在)



※米国のハワイ店は、PIETRO HAWAII, INC.の直営店舗です。
 ※中国のピエトロ旗艦店は、上海ピエトロ餐飲有限公司の直営店舗です。